

ワット・プラ・シー・サンペット
1448年に建立された王室の守護寺院。
3基のセイロン様式のチェダイ（仏塔）に
3人の王の遺骨が納められています。

世界の地域から

アユタヤ（タイ王国）

バンコクの北約80km、川の中洲にあるアユタヤは、1351年に建都されてから1767年にビルマ軍に破壊されるまでの417年間、アユタヤ王朝の都として栄え、5つの王朝、35人の王が君臨しました。チャオプラヤー川とその支流に囲まれた地形は水運に恵まれ、17世紀はじめにはヨーロッパと東アジアを結ぶ国際貿易都市として繁栄しました。

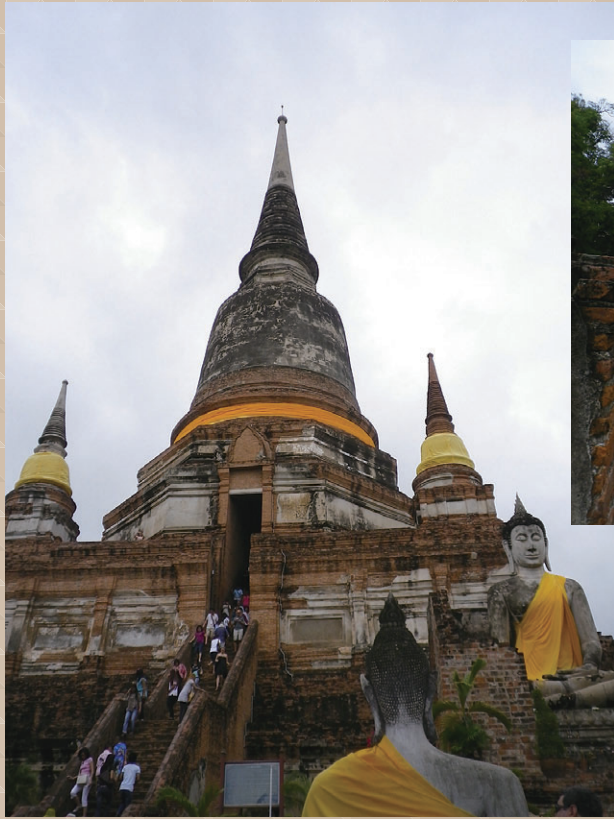
当時の姿を今に伝える荘厳な遺跡群は、歴史公園として整備され、1991年にユネスコ世界遺産に登録されました。

2011年7月から続いた大雨による洪水で、遺跡が水に浸かるなどの被害が出ましたが、現在は修復作業が進み、観光客も戻りつつあります。



ワット・プラ・マハータート
かつては塔の頂上が黄金に輝いていたこの寺院もビルマ軍の侵略により廃墟と化し、今は木の根の間に埋め込まれた仏像の頭や、頭部がない仏像、崩れ落ちたレンガの壁などが残るのみとなっています。





ワット・ヤイ・チャイ・モンコン

1357年、初代ウートン王がセイロン(現スリランカ)に留学中の修行僧たちの瞑想のために建てた寺院。遠くからでもひととき目立つ仏塔は、1592年、ビルマ軍との戦いに勝利した記念塔でもあります。

ワット・チャイワタナラーム

1630年、第24代ブラサートーン王が亡くなった母を偲んで建設した、クメール様式の寺院。アユタヤ王朝の滅亡まで、王の法事を執り行う王室寺院でもありました。1767年にビルマ軍によって破壊されましたが、1987年になって改修され、現在ではアユタヤで最も美しい寺院遺跡の一つとなっています。



日本人町跡

16世紀初め、御朱印船貿易に携わった日本人たちが築き、最盛期には2,000～3,000人以上もの日本人が住んでいました。日本人町の町長、山田長政は22代ソナム王から官位を与えられるほど大活躍しましたが、1630年に憤死。日本の鎖国令により18世紀初めには御朱印船貿易も終わりを告げ、日本人町も消滅しました。

エレファント・ライド

観光客に人気のエレファント・ライド。象に揺られて世界遺産観光。

